

# 西海ブロック水産業情報

NO. 101(平成30年4月～6月)

## 増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
特になし。	<p>○豊前海 【カキ養殖】 ・魚類による食害多く、食害対策を実施中。全体的に成長が遅い。 ・研究所で浮遊幼生調査を実施中。 【栽培関連】 ・クルマエビ及びびがザミの中間育成を実施。 ・「かくや装置」によるアサリ稚貝生産、干潟での放流試験を実施中。 【資源管理】 ・5月から、抱卵ガザミの再放流を実施。6/2時点で1,937尾実施。</p>	<p>○玄海 ・カサゴ： 5月上旬から下旬に全長40～50mmを約10万尾配布済。 6月下旬に全長50～60mmを約4千尾配布済。 7月中旬、8月上旬に合計約1千尾配布予定。 ・クロアワビ： 平成28年度産：4月中旬に放流用約3千個(30mmサイズ)を配布済。 平成29年度産：殻長11.6～16.6mm約8万個飼育中(6月上旬)。 ・ナマコ： アオナマコ約279万個(4月計数)、アカナマコ約179万個(5月計数)飼育中。 アオナマコは6月中旬から下旬に約35万個配布済。 ・マサバ： 5月下旬から種苗生産開始。 6月末時点で全長84mmを約1.2万尾引渡済。全長3.0-7.5mm約50万尾飼育中。</p> <p>○有明海 ・マガキ養殖 平成30年の生産は、平成29年11月中～下旬に宮城県から購入した種カキを、4月下旬から5月中旬まで牟田干拓で抑制飼育した後、沖合の26基の筏(19経営体)に沖出しし、養殖を実施している。なお、平成30年6月下旬から7月上旬にかけての大雨後に、一部の養殖業者で垂下中のカキ稚貝が脱落する現象が見られた。</p>		<p>・4月：カンパチで低水温障害の影響による生理障害が続いている状況。 ・6月：マダイにおいてエビテリオシステイス症の発生(未発生地域、県外産の種苗が中心)。</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>・スジアラ種苗生産：7月上旬から種苗生産試験中(60t1面) ・イワガキ種苗生産：6月下旬から種苗生産試験中</p>	特になし		特記事項無し。